



## 平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月3日

上場取引所 東

上場会社名 日本コークス工業株式会社  
コード番号 3315 URL <http://www.n-coke.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鹿毛 和哉  
問合せ先責任者 (役職名) 人事・総務部長 (氏名) 山下 伸一

TEL 03-5560-1311

四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	61,698	△13.0	2,175	2.7	1,105	△20.6	1,431	242.1
28年3月期第3四半期	70,907	△4.8	2,119	△49.5	1,391	△57.9	418	△79.3

(注)包括利益 29年3月期第3四半期 2,631百万円 (437.6%) 28年3月期第3四半期 489百万円 (△76.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	4.75	—
28年3月期第3四半期	1.39	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	113,842	43,255	38.1
28年3月期	113,804	41,226	36.3

(参考)自己資本 29年3月期第3四半期 43,387百万円 28年3月期 41,350百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
29年3月期	—	0.00	—		
29年3月期(予想)				2.00	2.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	83,500	△9.7	2,700	17.5	1,600	36.1	1,800	—	5.97

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期3Q	302,349,449 株	28年3月期	302,349,449 株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	630,135 株	28年3月期	629,917 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期3Q	301,719,314 株	28年3月期3Q	301,720,247 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気は緩やかな回復基調が続き、企業収益は改善しているものの、海外では、資源国等を中心に不透明な状況が続き、為替が急激に変動するなど、依然として先行きが見通せない状況で推移しました。

このような状況のもと、当社グループの業績は、主力のコークス事業において、前年同期に比べて販売数量は増加したものの、第2四半期まで販売価格が下落したことや、円高の影響などにより、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は、前年同期比92億8百万円減少の616億9千8百万円となりました。

利益面では、原料炭価格上昇に伴う割安な在庫の使用による影響の他、原料コスト削減のために低品位原料炭の使用拡大などに取り組んだ結果、連結営業利益は、前年同期比5千6百万円増加の21億7千5百万円、連結経常利益は、前年同期比2億8千5百万円減少の11億5百万円となりました。

なお、親会社株主に帰属する四半期純利益は、一過性の特別利益や、法人税等調整額の減少などにより、前年同期比10億1千3百万円増加の14億3千1百万円となりました。

## (セグメントの概況)

コークス事業につきましては、前述の理由などにより、売上高は、前年同期比45億5千8百万円減少の359億4千7百万円、営業利益は、前年同期比2千2百万円増加の9億9千9百万円となりました。

燃料販売事業につきましては、売上高は、前年同期比33億4千6百万円減少の161億2百万円、営業利益は、前年同期比4千3百万円減少の13億4千1百万円となりました。

総合エンジニアリング事業につきましては、売上高は、前年同期比4億1千7百万円減少の66億3千9百万円、営業利益は、前年同期比1億3千5百万円増加の6億5千2百万円となりました。

その他につきましては、売上高は、前年同期比8億8千5百万円減少の30億9百万円、営業利益は、前年同期比5千8百万円減少の1億8千5百万円となりました。

## (2) 連結財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、1,138億4千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ3千7百万円増加となりました。増減の主なものは、原材料及び貯蔵品の増加33億9千3百万円、現金及び預金の減少28億4千万円等であります。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、705億8千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ19億9千万円減少となりました。増減の主なものは、支払手形及び買掛金の増加35億9千5百万円、長期借入金の減少33億7千3百万円、流動負債「その他」の減少28億7千万円等であります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ、利益剰余金の増加やその他有価証券評価差額金の増加などにより、20億2千8百万円増加の432億5千5百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の連結業績予想においては、第4四半期の原料炭価格が決定し、かつ、コークス販売価格についても一定の見通しを得るに至った他、足元の原料炭市況を踏まえると、通期業績に大きな変動はない見込みであることから、前回(平成28年10月14日公表)の予想値と変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、一部の連結子会社において、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響額は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,944	4,103
受取手形及び売掛金	8,873	10,622
商品及び製品	7,248	8,552
仕掛品	881	1,282
原材料及び貯蔵品	6,839	10,232
その他	4,080	1,621
貸倒引当金	△17	△18
流動資産合計	34,849	36,396
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具	81,201	83,794
減価償却累計額	△52,617	△57,088
機械装置及び運搬具(純額)	28,583	26,705
土地	36,104	36,035
その他	22,803	22,623
減価償却累計額	△14,140	△14,661
その他(純額)	8,662	7,962
有形固定資産合計	73,350	70,703
無形固定資産		
その他	545	536
無形固定資産合計	545	536
投資その他の資産		
その他	5,068	6,214
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	5,059	6,205
固定資産合計	78,955	77,445
資産合計	113,804	113,842

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,470	15,066
短期借入金	6,696	8,554
1年内償還予定の社債	14	14
未払法人税等	244	132
賞与引当金	815	331
関係会社整理損失引当金	387	387
受注損失引当金	2	10
事業整理損失引当金	123	91
その他	7,537	4,666
流動負債合計	27,292	29,255
固定負債		
社債	44	37
長期借入金	36,531	33,158
退職給付に係る負債	4,209	3,888
役員退職慰労引当金	48	54
環境対策引当金	3,001	2,974
事業整理損失引当金	199	131
その他	1,250	1,085
固定負債合計	45,284	41,331
負債合計	72,577	70,587
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,000	7,000
資本剰余金	1,750	1,750
利益剰余金	32,881	33,710
自己株式	△107	△107
株主資本合計	41,524	42,353
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	73	1,177
繰延ヘッジ損益	△159	△112
為替換算調整勘定	158	198
退職給付に係る調整累計額	△246	△227
その他の包括利益累計額合計	△174	1,034
非支配株主持分	△123	△132
純資産合計	41,226	43,255
負債純資産合計	113,804	113,842

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	70,907	61,698
売上原価	64,516	55,431
売上総利益	6,390	6,267
販売費及び一般管理費	4,271	4,091
営業利益	2,119	2,175
営業外収益		
受取配当金	118	74
その他	90	66
営業外収益合計	208	141
営業外費用		
支払利息	381	379
為替差損	174	458
その他	379	373
営業外費用合計	936	1,211
経常利益	1,391	1,105
特別利益		
投資有価証券売却益	0	316
保険差益	—	303
その他	728	105
特別利益合計	729	725
特別損失		
固定資産除却損	456	346
その他	520	79
特別損失合計	977	425
税金等調整前四半期純利益	1,142	1,405
法人税、住民税及び事業税	213	97
法人税等調整額	518	△114
法人税等合計	731	△16
四半期純利益	411	1,422
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△7	△9
親会社株主に帰属する四半期純利益	418	1,431



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	411	1,422
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	29	1,103
繰延ヘッジ損益	5	46
為替換算調整勘定	24	39
退職給付に係る調整額	18	19
その他の包括利益合計	78	1,209
四半期包括利益	489	2,631
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	497	2,641
非支配株主に係る四半期包括利益	△7	△9

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 1. 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計額	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	コークス事業	燃料販売事業	総合エンジニアリング事業	計				
売上高								
(1)外部顧客への 売上高	40,506	19,449	7,057	67,012	3,894	70,907	—	70,907
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	1,080	1,080	286	1,367	△1,367	—
計	40,506	19,449	8,137	68,093	4,181	72,274	△1,367	70,907
セグメント利益	976	1,384	516	2,878	243	3,121	△1,002	2,119

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸荷役事業、不動産販売・賃貸事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△1,002百万円は、セグメント間取引消去△20百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△982百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計額	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	コークス事業	燃料販売事業	総合エンジニアリング事業	計				
売上高								
(1)外部顧客への 売上高	35,947	16,102	6,639	58,689	3,009	61,698	—	61,698
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	686	686	198	885	△885	—
計	35,947	16,102	7,326	59,376	3,207	62,584	△885	61,698
セグメント利益	999	1,341	652	2,993	185	3,178	△1,003	2,175

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸荷役事業、不動産販売・賃貸事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△1,003百万円は、セグメント間取引消去7百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,010百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。